

【災害訓練ゲーム 紫竹地域包括ケア Ver. 運営スタッフ用】

1. 当日必要なもの

プロジェクター、パソコン

①（当日進行&ファシリテーター用）災害訓練ゲーム紫竹地域包括ケア Ver.

※データおよび印刷（ファシリテーターの人数分）

②（参加者配布用）災害訓練ゲーム紫竹地域包括ケア Ver.

※印刷（参加人数分）

【ゲームツール／1グループあたり】

模造紙 2枚 セロテープ フセン

③住民カード（A~E） ※印刷 1 セット 2 分割

④スタッフカード（3名） ※印刷 2 セット 2 分割

⑤ワークシート（1、2） ※印刷 5 セット 2 分割

⑥イベントカード（1~4） ※印刷 1 セット A4

救護要請シート ※印刷 5 枚 A4

マジック 1 本（模造紙に書いて見える太さ）

サインペン（フセン記入時に見やすい太さ）

※サインペンは参加者各自持参にしても OK

× グループの数

2. 印刷について

①、②については、印刷サイズ（分割）はお任せします。

③~⑤については、プロパティ→2分割で印刷をお願いします（A4の1/2サイズになるように）

⑥、救護要請シートはA4サイズで印刷をお願いいたします。



こちらから

プリンターのプロパティ

設定

すべてのスライドを印刷

プレゼンテーション全体を印刷し...

スライド指定:

フル ページ サイズのスライド

1 スライド/ページで印刷

部単位で印刷

1,2,3 1,2,3 1,2,3

カラー

ヘッターとフッターの編集

【ファシリテーターへのお願い】

1. 事前に①当日進行用&ファシリテーター用のスライドをよく読み、進め方を理解しておいてください。
一見ややこしいですが、何度か読んでいただくと、イメージしていただけるとと思います。

本ゲームは全てグループワークで行いますが、最終決定は全てゲームコントローラーが行い進めていきます。参加者からは様々な意見が出るとは思いますが、時間が無い中でC:指揮・統制を行う訓練も想定しています。そのため、わざとゆっくり考える時間を作っていません。混乱し、切迫した状況の中で、考えを巡らせて判断していくことを目的の一つとしています。

参加者の中には、進行中のグループ討議にあまり加わることができない方もいらっしゃるかもしれません。そういった方の貴重な意見を取りこぼさないためにも、グループ討議とKJ法を並行して実施し、最後の振り返りの時間で共有していただきます。

ファシリテーターには、上記の趣旨をご理解いただき、ゲーム進行やフセン記入への促しを行っていただきたいと思ひます。

当日のゲーム成功のカギは、ファシリテーターの進行助言次第であると言っても過言ではありません！
何卒ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

2. 住民カード、スタッフカード、イベントカードは、初めは全てファシリテーターが持っていてください。
わざとゲームの内容を知らずに参加することで、混乱した状況を作り出し、実際の被災時の状況を少しでも疑似体験いただきたいという趣旨があります。
総合司会が当日進行スライドで示した（または指示した）タイミングで、グループに提示してください。
それまでは、参加者には見せないようお願いいたします。

3. 進行の過程で、グループによっては全体との進行状況にズレが生じる場面がでてきます。
特に、【進行4】の建物に入るか入らないかの選択で、全て「**×**:入らない」という選択をしたグループは、進行2に戻り、行き先決定を再度行う必要があります。
この時、全体へのアナウンスは「**○**:建物に入る」選択をした場合の【進行5】に進む説明をしており、混乱を招く可能性がありますので、この場合は、全体の進行は無視して構いません。ファシリテーターがそのグループの状況に沿った進行指示をしてください。

4. ファシリテーターはあくまでも「進行助言役」です。指揮・統制はゲームコントローラーが行います。
ただし、議論が停滞したり、一部の症例の議論に偏ったりする場合には、中立的な立場からの指摘や、軌道修正を促すようなアドバイスをお願いいたします。
また、発言が極端に少ない人への声かけや、フセンへの意見の記入の促しもお願いいたします。

5. 進行の途中で、困ったことや不明な点が出てきた場合、手を挙げて他の運営スタッフを呼んでください。
総合司会者またはフリーの運営スタッフがサポートに入ります。